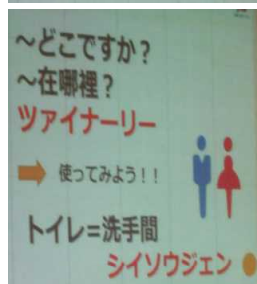
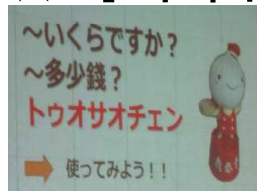


# 夢の翼



H 2 7 . 7 . 9 (木) [第31号]

## ☆『中国語/台湾語講座』～第2回修学旅行事前指導(6/29)～



6/29(月)6限総合の時間に、第2回修学旅行事前指導が体育館で行われました。今回は、JTBの林怡君<sup>りん い くん</sup>さんを講師に招き、台湾の最新情報と中国語/台湾語講座の講演をお願いしました。盛りだくさんの内容でしたが、大変有意義な事ばかりでした。中国語/台湾語講座では、挨拶など8つの言葉を教えてもらいました。なお、講座の第2弾を10月に予定していますので、それまで勉強しておきましょう。司会進行役の戸村君と新埜さん、そして質問者の皆さんご苦労様でした。



## ☆『B & S プログラム』～班別行動計画書提出締切日風景～



## ☆台湾学②『鄭成功物語Ⅱ』～明の滅亡と国性爺～

1644年、李自成が明を滅ぼし王朝を立てたが、清によってあっけなく滅ぼされた。鄭芝龍らは、旧明の皇族である朱聿鍵(隆武帝)を擁立したが、隆武帝政権は清の支配に対する抵抗運動でしかなかった。ある時、鄭成功は父の紹介により隆武帝の謁見し、気に入られ国姓の『朱』を賜ることになる。しかし、あまりにも恐れ多いと、決して朱姓を使おうとはしなかったが、以後人からは「国姓を賜った大身」という意味で「国性爺」(「爺」は「御大」や「旦那」の意)と呼ばれるようになる。江戸時代の近松門左衛門の浄瑠璃の代表作である『国性爺合戦』は、この鄭成功の物語を題材にしている。主人公の父が中国人、母が日本人という話題と、隣国・中国という異国情緒の富んだ舞台展開が、鎖国下にあった日本の観客に人気を呼んで、興行的に大成功し、3年越し17ヶ月の上演記録を打ち立て、読本としても出版され、『国性爺ブーム』を巻き起こしている。

